

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選	講義		必修		
			年次	1 年次or 2 年次				
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位			
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース（1年次） / ライヴハウスコース（2年次） / 企画制作コース（2年次）							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目						該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験：27年。 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。							
授業概要								
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。 音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。								
到達目標								
アーティストの要望に対応するための幅を広げる。								

授業計画・内容		
【前期】 1～5回目	・クラシック（古典派） ・クラシック（ロマン派） ・ラグタイム	弦楽四重奏（Vln、Vla、Vc、Cb） Apf Resonator
【前期】 6～10回目	・ブルース ・ジャズ （ビックバンドジャズ）	Guitar、Harmonica Tp、Sax、Tb、C.B、Hammond Organ、Leslie Speaker Vib、Ondes Martenot
【前期】 11～15回目	・カントリーミュージック ・R & B（リズム＆ブルース） ・ゴスペル	Banjo、Steel Guitar、Resonator G. Mandolin、Bandoneon、Auto Harp String Bender、Wurlitzer、Clavinet
【前期】 16～20回目	・ロックンロール ・70年代歌謡曲 ・80年代歌謡曲	CP70 DX-7
【後期】 21～24回目	・90年代歌謡曲 ・ロック ・サーフィンロック ・グラムロック	SEQ Mellotron、Moog Theremin
【後期】 25～28回目	・プログレッシブロック ・パンクロック ・ハードロック ・フュージョン	Mashall、Fender Twin、Ampeg Rhodes
【後期】 29～32回目	・ボサノヴァ ・シャンソン ・インディアンミュージック ・レゲエ	Sitar、Electric Sitar
【後期】 33～36回目	・ハワイアンミュージック ・ヘビーメタル ・ジャパニーズ・メタル	Ukulele Twin BD
【後期】 37～40回目	・ヴィジュアル系ロック ・ジャパニーズ・ロック	
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）	
学生へのメッセージ	自分の好きな音楽だけではなく、幅広く音楽ジャンルを知識として学びましょう。 フェイバリットアーティストの影響を受けたアーティストの事を知ることも大切です。	
使用教科書	オリジナルPDFテキスト	

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	コンサートプロダクト講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 立上げに関わったコンサート制作会社にて、「音楽」「演劇」などのイベントを多目的ホール・ライブハウスでコンサート制作に従事。また主催イベントでは制作以外にもアーティストの管理や現場運営などのイベント業務も務める。				
授業概要					
ライブやコンサートを開催する為に必要な制作・予算管理・プロモーション・現場運営の知識や手法を学ぶ					
到達目標					
就職後すぐに関わる制作業務内容の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	イベンターとは～ 業務/役割/予算・精算/会場ブッキングの流れ
【前期】 9～10回目	会場打ち合わせ～ 会場設営(楽屋・客席・ロビー) /設備・備品借用の申請・承諾
【前期】 11～15回目	チケット関係～ チケット会社/配券/チケットプロモーション/電子チケットの取り扱い
【前期】 16～20回目	市内交通関係～ 行程(市内交通・宿泊)/駅・空港対応/会場警備・アテンド
【後期】 21～24回目	関係官庁申請関係～ 消防禁止行為解除申請/警察警備車両通行申請
【後期】 25～30回目	入口・受付・場内～ 会場整理/もぎり/フライヤー折込/警備・誘導/コロナ対策
【後期】 31～32回目	関係者対応～ 関係者受付/ゲスト対応マニュアル/関係者席の運用/PASSコントロール
【後期】 33～40回目	楽屋周り～ アルバイト会社・発注/ケータリング/食事/楽屋セッティング/運営基礎
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給iPad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校 E S P エンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
P C によるデザイン、図面制作における各ソフトの高度な操作方法について学ぶ。					
到達目標					
Illustratorによる正確な図面制作や、様々なコンピュータースキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	フォントの扱い方。版面率とは。タイトルの見せ方/伝え方。 複数の画像の扱い方。裁ち落とし、角版、切り抜きの3つのスタイルの違い。 グリッドシステムの使い方。 アイキャッチの使い方。
【前期】 11～20回目	男性をターゲットにしたデザイン。 女性をターゲットにしたデザイン。 デザイン考察のまとめ。
【前期】 21～30回目	セット図の理解 整列設定の復習と応用。パスファインダーの使い方。
【前期】 31～40回目	ペンツールの復習と応用。パスのアウトライン。 回転、移動、複製など。ポイントにスナップ。
【後期】 41～48回目	変形ツールの扱い方。変形ツールで出来る編集内容。 変形ツールの扱い方。正確な値で図形を描く。尺貫法でのグリッド線の描き方
【後期】 49～56回目	学園のステージ図面を、実際に描いてみる（1/50の縮尺で）。 外部のステージ図面を、実際に描いてみる（1/70の縮尺で）。
【後期】 57～64回目	外部のステージ図面を、実際に描いてみる（1/100の縮尺で） ステージのセット図に使えるテンプレートを作成。
【後期】 65～74回目	正確な縮尺でのドラムセット、ギターやベース、鍵盤楽器などの作成。 外部のステージ図面（立面図）を、実際に描く。
【後期】 75～84回目	ポートフォリオ作り
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	より高度なコンピューターのスキルを高めましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
Premiereの基本操作方法およびIllustrator、Photoshop、Word、Excel等のソフトの応用を学ぶ。					
到達目標					
より高度なイベントロゴ、フライヤー、チケット等のデザイン作業に係る技術の修得。 創造力、デザイン力の向上。 動画制作、編集技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	オリジナルゲームの製作 ・発案、説明書の作成
【前期】 11～20回目	オリジナルゲームの製作 ・デザイン ・評価
【前期】 21～30回目	Wordの応用
【前期】 31～40回目	Excelの応用
【後期】 41～48回目	Illustratorを使用した課題制作
【後期】 49～56回目	Photoshopを使用した課題製作
【後期】 57～64回目	「Premiere」を使用した動画編集基礎
【後期】 65～72回目	動画コンテンツを使用したPV/MVなどの流行分析
【後期】 73～84回目	企画ライブ制作過程における各作業
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	就職で必要とさせるパソコンスキル 創造力・デザイン力の技術取得を目指していきます。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	企画制作実習Ⅱ-A		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	80回（160単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：10年 コンサートホール、その他の外部ホールでの企画に従事。 企画立案時のアイディア出しや考え方、プレゼンテーションの知識を持つ企画プランナー。				
授業概要					
外部ホールを使用した運営方法、キャッシュフロー、広報、企画、進行作業等、一連の流れを学ぶ。					
到達目標					
資料作成能力、立案能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	外部ホールの企画制作
【前期】 11～20回目	外部ホールの運営方法
【前期】 21～30回目	キャッシュフローについて ・ 予算上限、必要経費算出、経費削減 ・ 出演料の計算方法、支払い方法
【前期】 31～40回目	多方面からの宣伝方法の模索 ・ Twitter等SNS、webサイト ・ フライヤー配布方法
【後期】 41～48回目	企画会議
【後期】 49～56回目	プレゼンテーション
【後期】 57～64回目	企画ライブ進行作業 ・ 起案～本番までの流れ
【後期】 65～72回目	企画ライブ進行作業 ・ 本番までの準備作業の効率化
【後期】 73～80回目	企画ライブ進行作業 ・ 終了後のアフター作業
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給iPad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	企画制作実習Ⅱ-B		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 立上げに関わったイベント制作会社にて、「音楽」「演劇」などのイベントを多目的ホール・ライブハウスで企画制作に従事。また主催イベントでは、企画に携わったかわら、デザイン・Web・映像クリエイターとして制作、監修業も務める。				
授業概要					
全国ツアーを開催するにあたり多くの作業について学ぶ。					
到達目標					
就職後すぐに関わる制作業務内容の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	全国ツアー行程の組み方 （開催都市・会場規模・時期・期間）
【前期】 11～20回目	地元イベンター手配・予算書・契約書・発注書・チケット発券委託
【前期】 21～30回目	各セクション見積書依頼・ギャランティー・正式発注
【前期】 31～40回目	各機材の物量・トランスポート台数・ステージハンド発注
【後期】 41～48回目	現地機材発注品確認
【後期】 49～56回目	移動行程の組み ・エアー団券・新幹線（G席）移動・手配（発券）
【後期】 57～64回目	・会場間ジャンボタクシー移動・手配 （アーティスト移動・ツアースタッフ移動）
【後期】 65～74回目	楽屋割り・ケータリング・ホットミール（保健所免許・申請） 本番までの作業～次の開催地への引継ぎ
【後期】 75～82回目	ファイナル終えての清算作業・お礼状発送
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給iPad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	企画制作実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習		必修								
			年次	2 年次										
授業時間	180分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（36単位時間）	年間単位数	2 単位									
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース													
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐													
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。													
授業概要														
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。														
到達目標														
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。														

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～9回目	E S P 学園主催イベント①～⑤
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布